

2024年10月21日

国土交通省主催「2024年度 災害物流研修」が行われました



トラックターミナルの役割について説明



岡山県貨物運送株式会社からの業務内容の説明

2024年10月16日（水）、日本自動車ターミナル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：黒沼 靖、以下「JMT」）が管理・運営する足立トラックターミナル（足立区入谷）において、国土交通省主催の「2024年度 災害物流研修」現場体験学習が行われました。

同研修は、大規模災害発生直後における円滑な支援物資物流を実現するために、その専門知識を習得し事務能率の向上を図ることを目的として、10月15日（火）～18日（金）の4日間、地方運輸局や自治体、トラック協会、物流事業者等の防災担当者ら38名を対象に行われました。

JMTのトラックターミナルは国の民間物資拠点にリストアップされていることから、現場体験学習として足立トラックターミナルにおける災害対策の取組みを紹介しました。

発災後72時間対応可能な非常用自家発電設備や災害用備蓄品倉庫などを見学するとともに、東京都地域防災計画における広域輸送基地の役割等の説明を行いました。

さらに、本トラックターミナルの利用事業者である岡山県貨物運送株式会社（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：馬屋原 章）にご協力いただき、業務内容の説明や安全管理の取組み等について紹介していただきました。

JMTは、大規模災害時における広域輸送拠点としての役割を発揮するために、これからも国や東京都、関係事業者との連携を積極的に進めてまいります。

以上